

ぜんぜんぜんぜん!

ここは、ただ短いだけの
大学じゃない。



卒業生・学生インタビュー

【進行】 幼児教育学科 教授

増田 翼

■卒業生

仁愛女子短期大学
附属幼稚園 教諭

谷口 莉央 さん

(2025.3仁愛女子短期大学卒業)
(2010.3仁愛附属幼稚園卒園)

■在学生

幼児教育学科1年

森川 愛莉 さん

質問①

幼稚園教諭や保育士を
目指した理由

谷口さん

- ・子どもが好きだったから
- ・小さい頃からの夢だったから
- ・幼稚園の時の先生に憧れたから
- ・自分の得意なことを活かせると思ったから
(コミュニケーション能力、運動能力)

森川さん

- ・母の勤務先の保育園でお手伝いをした経験

■小学校の高学年から、母の働く保育園で子どもと関わったり、夏祭りやバザーなどの行事の手伝いをしたりしていた。

「子どもたちが近寄ってきてくれるのが嬉しい！」
「子どもたちと一緒にいると楽しい！幸せ！」

→ 一番身近な存在である母親の影響が大きい

森川さん

小学生の頃から、
母の働く保育園で、
子どもたちや
地域の人と交流



「保育者になりたい！」
という思いが芽生える



質問②

仁愛女子短期大学に
進学した理由

谷口さん

- ・幼児教育学科があったから
- ・キャンパス内で子どもと触れ合える環境
- ・家から近い
- ・短期大学が自分に合っている
(四年は長い、専門学校より幅広く学べる)

森川さん

- ・仁短卒の保育者が福井に多い！
→母の園の仁短卒の保育士からいろいろと話を聞いた
→仁短からきた実習生からアドバイスをもらった
- ・2年間で保育者になれる！
- ・ピアノのサポートが充実している！
- ・子どもと触れ合う機会が多い！
(キャンパス内に附属幼稚園と保育園がある)
- ・オープンキャンパスが楽しかった！
- ・「保育心理士」の資格が取れる！

質問③

仁愛女子短期大学に
進学してよかったこと

谷口さん

- ・同じ夢を持つ友だちがたくさんできた
- ・地元福井からの求人が多かった
- ・先生たちのサポートが手厚くて安心

森川さん

- ・自分の好きなこと、興味のあることが学べている
- ・キャンパス内に子どもが歩いているなど、子どもに出会う機会が豊富！
- ・苦手なピアノやスポーツも「楽しんで」行えている

こどもものひ

「たんごのせっく」

といいます。

- こどもたちのせいちょうやしあわせをねがっておいおい
- "かしわもち" や "ちまき" を

たべよう



→ まごい
おとうさん



→ ひごい
おやあさん



→ こごい
こども



森川さん



質問④

今の仕事で仁短の学びが
活かされていると感じることは？

谷口さん

今の仕事に役立っていること

- ・絵本の読み方や手遊び、導入の仕方
- ・子どもとのかかわり方や話し方

子どもと触れ合う機会が多かったので、引き出しが多い

- ・ピアノ(短大入学時はまったく触ったことがなかった)